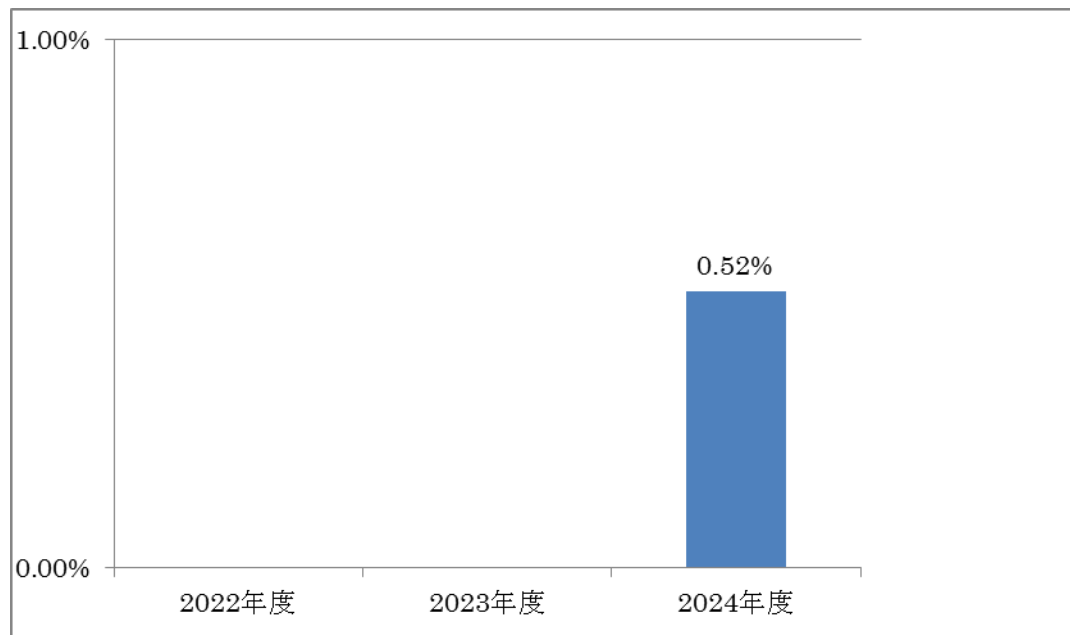


(4－a) 新規圧迫創傷(褥瘡)発生率

【指標の説明】

・褥瘡の持ち込みや調査期間以前の褥瘡の発生に関わらず、入院患者全体のうちどのくらい褥瘡が新規で発生しているかを見る指標です。褥瘡は、寝たきりなどの状態で皮膚が圧迫され循環障害を起こすことにより発生し、一般的に「床ずれ」とも言われています。褥瘡の発生は、患者さんのＱＯＬ（生活の質）の低下や、入院日数の延長につながります。そのため、褥瘡予防は患者さんへ提供されるべき医療の重要な項目の一つとなります。当院では、褥創の発生率を把握し、予防対策へ繋げるよう努めております。

※2024年度より、指標の算出方法が変更になったため、2024年度からの数値を掲載しています。



【定義】

$$\frac{\text{調査期間中にd2(真皮までの損傷)以上の院内新規圧迫創傷発生患者数}}{\text{調査期間初日(0時時点)の入院患者+調査期間に新たに入院した患者数}} \times 100(\%)$$